知っておきたい (2)

交通事故損害賠償のなかみ

1 ――――人についての損害

〈死亡の場合〉

一 本人が生きていたら、将来得られたはずの収入

普通はホフマン式計算方法というもので算出されます。これは、大体次のような考え方にもとづいています。

●社会一般からみて、あと何年働けたか(就労可能年数)→その間の純収入(所得から生活費を差引いたもの)は、総額でどのくらいになるか→いまそれを一時にもらうとすれば、就労可能年数だけの利息(年5分の単利)を差引いて、いくらになるか――ということで、現在の時点での損害額を算出するのです。

二 葬儀費

三 被害者本人の慰謝料

四 遺族の慰謝料……慰謝料は精神的損害への賠償

五 死亡するまでの損害……これには、救助捜索費(被害者が谷や川に転落した場合など)治療関係費(応急手当費、護送費、入院費、診療費、看護費、雑費など)治療期間中の休業補償費(働けないために収入が減ったことに対する補償)があります。

〈ケガの場合〉

一 救助捜索費

二 治療関係費

三 治療期間中の休業補償費

四 慰謝料

五 後遺障害補償費……後遺障害は相当あとになってわかる場合も少なくありませんから、示談の際十分ご注意ください。

2 ――――物についての損害

一 修理、復旧、買換費用

2 休業補償費……たとえば、店舗などをこわされて被害者が休業した場合、加害者はその間の収益の減少に対して、賠償責任があります。

郵便コーナー (1)

書き損じたはがき類は交換できる

書き損じたり、汚してしまった場合、とかくはがき類を破いたり捨てたりしがちなものですが、ちょっとお待ち下さい。郵便局ではこのような経済的損失をなくすため、わずかな手数料で新しいはがき類と交換します。種類と手数料は、次のとおりとなっていますから活用してください。

。通常郵便はがき

。往復はがきの往信部または返信部のみ

。小包はがき

以上が一枚につき 二円

。往復はがき

。郵便書簡(ミニレター)

以上が一枚につき 四円

。外国郵便用はがき 五円

。航空書簡(エログラム) 十円

◎交換の条件 未使用を前提とし

1 料額印面以外のところを書き損じたもの

2 印刷を誤ったもの

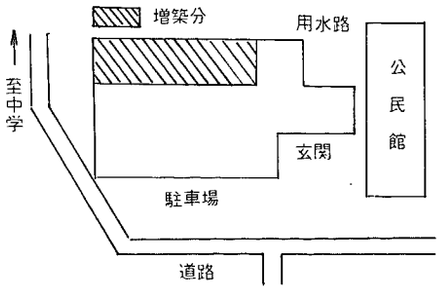
3 汚染したもの

4 一部を書き損じたもの

役場庁舎を増築

人口の増加と行政の多様化、事務量の増大に伴い、昭和三十五年の火災により新築した庁舎も職員の増加により手狭となり、このほど庁舎西側に木造平家約百㎡を増築することとなり、去る八月十日五業者により指名競争入札を行ない、地元小松組が落札、総工費二四九万円で八月十六日より、60日間の工期で工事が施行される。

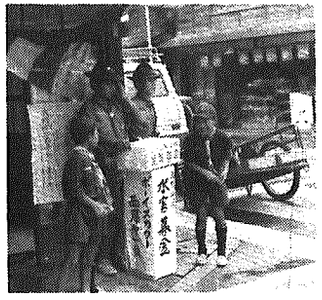
期間中皆様にはご不便をおかけすることもあろうかと思われますが何分ともご了承下さいますようお願い致します。



ボーイスカウト 愛の募金

九州四国 集中豪雨罹災者に

九州、四国地方を襲った、集中豪雨により被害を受けた人に義援金をと本村ボーイスカウトら三十数人が大野町各所の街頭で募金を行ない集まった義援金三二、四一一円を被災地に送ってほしいと役場厚生課へ、代表の鈴木昭氏(医師)から届けられた。さっそく役場では郵便局を経由して送金致しました。



みなさんの善意に感謝するとともに今後の発展をお祈り致します。

公民館に図書寄贈

。二ノ丁 竹内竹市さん

オリンピック百科 学習研究社

。木場八割 佐藤喜代司さん

家族八景 筒井康隆

レモンのような娘 川上宗薫

義理と人情 赤塚行雄

善意感謝申し上げます。

香典返しに十万円

板井 丸山新一郎さん

去る八月四日、故丸山豊吉氏の香典返しとし、村の社会福祉事業に使っていただければと板井の丸山新一郎さんが十万円を寄附下さいました。紙上を通じ厚くお礼申し上げます。さっそく社会福祉事業に役立たせていただきます。

選挙人名簿の定時登録

九月一日(定時登録日)現在で次に該当する人が、選挙人名簿に登録されます。該当する人が登録されているかどうか縦覧においで下さい。

縦覧期日 九月十一日から九月十五日までです。

登録される人

イ 満二十歳に達した人。昭和二十六年九月三日から昭和二十七年九月二日までに生れた人です。

ロ 転入して三ケ月に達した人。昭和四十六年六月二日から昭和四十七年六月一日までに転入した人です。

以上の点に注意して縦覧して下さい。尚登録もれ等ありましたら選挙管理委員会に申し出て下さい。

追い越して急ぐあなたを事故が追う〔交通安全標語〕

村民魚釣り大会

とき 九月一日(日曜日)

ところ 横江排水路

申込み 中央公民館へ

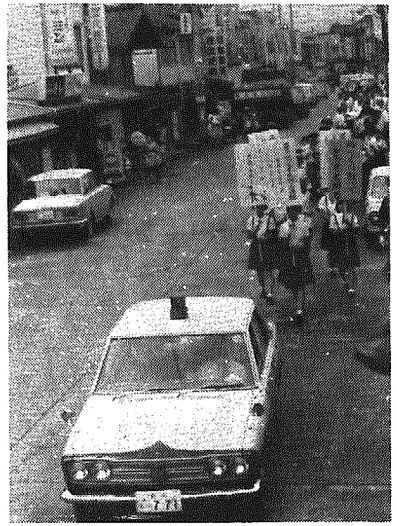
バトン・トワラーを先頭に

町内をパレード

夏季の交通安全を願い

時々小雨のぱらつく去る八月八日夏の交通事故防止運動の一環として、役場前から新田町までの約2㎞を交通ルールを励行するようプラカードや風船を手に町中をパレードした。

当日は、午前九時半、村長代理柄沢助役を初め、新潟西警察署長および交通署員、本村派出所、警察官、交通指導隊員、安全協会員、母の会、町内会長など四十人が黒中のバトンガール、ブラスバンド部を先頭に役場前より出発し中学通、新町スワ町……新田町までの商店街を交通事故のない明るい村にと事故の絶滅を願ってパレードが行なわれた。



村内交通事故発生状況

区分 / 月別	人身事故 件数	死者	重傷	軽傷	物損事故
3	10	0	4	10	8
4	12	0	4	12	12
5	6	0	1	7	4
6	7	0	1	6	10
7	16	0	1	18	9

感電事故に注意

最近、土木、建築業者による感電事故が多発しております。去る八月九日に白根営業所区域内にも建築業者が自宅の養鯉池の井戸を掘る為、自分で作った櫓の上に昇って高圧線に触れ感電死亡しております。土木建築業者の皆様方にお願いしたいことは、家屋の新増築及びクレーン車が電線に接近する恐れがある場合、なるべく早期に当社へ連絡、相談等を致して下さい。高圧柱ですと停止作業になる為、相当日数が掛りますので取りあえず電線防護管に依り防護した後に本工事を行なっております。なお、防護取付けも活線作業(電気を停止しないで行なう作業)ですので建て前の最中及び前日に依頼がありましても天候、人員等の関係で希望日までの作業に応じられませんので早期に申出をお願い致します。

東北電力大野出張所

指導所を設置

交通安全の啓蒙はかる

また、八月九日午前9時から11時と十二日の午後1時から3時の両日にわたって、太平興業前で仮設の交通安全指導所を設け、炎天下のもとで、西警署長、指導隊、安全協会、母の会等関係団体が運転者に対し、安全運転の実践を要請した。チラシ、マッチ、風船を配布し、安全運転を呼びかけ指導にあたった。

村内15ケ所にカーブミラー設置

交通事故を未然に防止するため安全施設として、八月十日に村内の危険箇所と思われる見通しの悪い交差点やカーブ地点15ケ所に道路反射鏡が設置された。破損したりしないよう切にお願い致します。

設置場所は次のとおり

。善久一ケ所。新田町二ケ所。北場一ケ所。黒鳥四ケ所。木場四ケ所。板井二ケ所。金巻一ケ所

落し物・忘れ物

7・3 現金

7・17 現金

7・21 現金

7・25 自転車(実用車)

7・28 自転車(婦人用)

7・29 腕時計(女性用)

お気付きの方は、黒埼幹部派出所へ

K.K欄

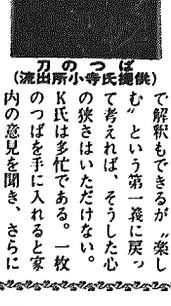
古美術品収集の楽しみ

私はK氏と知り合ってから美術工芸品に趣味を持つようになった。古美術品や工芸品を集めるということは、生活の中のゆとり、すなわち趣味の道であるから、なんといっても「楽しむ」ということが第一である。楽しみながら集めたものが値上がりして儲かったとしても、初めから値上がりを考えての〝投資〟的な気持ちはよくないと思う。道に楽しむすなわち道楽という言葉はここから生れたのではないか。

また趣味の道は得てして独善的になりやすく、共すれば自己の所蔵品のみが勝れたものであると考え、他の人の愛蔵品を無視したり故意に貶したりしがちである。他人を中傷したり落し入れたり、はなはだしきに至っては喧嘩口論までやる。熱心のあまりということで解釈もできるが〝楽しむ〟という第一義に戻って考えれば、そうした心の狭さはいただけない。

K氏は多忙である。一枚のつばを手に入れると家内の意見を聞き、さらに幾人かの人の感想・意見を聞く、いうなればつばをめぐっての討論会で一夜を楽しく過ごす、これこそほんとうの趣味の道ではないかと思う。

上山田 逢坂 記



刀のつば
(流出所小寺氏提供)

おっと待て無理な黄より次の青〔交通安全標語〕